

民主・市民連合

代表 小山 征三・副代表 西野 茂樹
幹事長 松尾 省勝・会計幹事 岩田 薫

今議会を振り返って

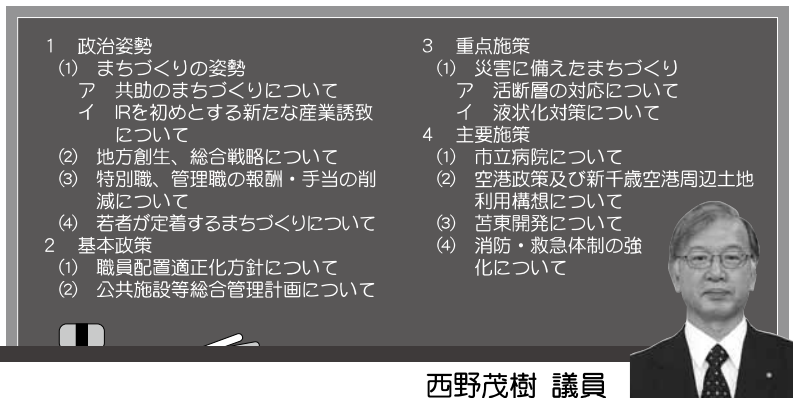
★ 市がイオンとWAON提携へ

平成28年度から市が導入する「とまチョップカード」は、イオンリテール(株)が取り組んでいる「**ご当地WAON**」を活用することが明らかとなりました。ご当地WAONは、全国各地で利用した際、利用金額の0.1%をイオンが自治体へ寄附する行為で、札幌市は文化芸術振興、旭川市は中心市街地のにぎわい創出、函館市は子育て支援事業に活用されています。

本市の場合は、さらに地域ポイントを付与するものであることから私たちの会派では、自治体がイオンと「**WAON提携**」を結ぶことで公平性、中立性は損なわれないのか、また、平成17年にイオンが進出し、苦境に立たされている市内の商店への配慮について見解を求めました。市側は、地域振興を目指す提携であり、実施主体は市商連であることを示しました。

代表質問(西野茂樹議員)

これからの苦小牧のまちづくりに必要な課題は何か、優先すべきは何か、という観点から主要なテ



1 政治姿勢
(1) まちづくりの姿勢
ア 共助のまちづくりについて
イ IRを初めとする新たな産業誘致について
(2) 地方創生、総合戦略について
(3) 特別職、管理職の報酬・手当の削減について
(4) 若者が定着するまちづくりについて

2 基本政策
(1) 職員配置適正化方針について
(2) 公共施設等総合管理計画について

3 重点施策
(1) 災害に備えたまちづくり
ア 活断層の対応について
イ 液状化対策について

4 主要施策
(1) 市立病院について
(2) 空港政策及び新千歳空港周辺土地利用構想について
(3) 苫東開発について
(4) 消防・救急体制の強化について

西野茂樹 議員

ーマについて取り上げました。特に苦小牧版総合戦略について各事業の内容や実施時期が明記されていないなど、示された計画で果たして**人口減少対策**と成り得るのか、その効果に疑問を持っているからです。

私たちの会派では、何としても**人口の減らないまちづくりを最優先課題**としてあらゆる施策を動員する必要があると考えています。

そのためには、相当思い切った施策を実行すべきと、2人目からの保育料の無料化と、市独自の雇用促進税制の導入を強く求めました。市側からは、**2人目の保育料無料化は人口減少対策として有効と認めつつ、財源面から実態は難しい**。また、雇用の優遇税制については、今後のアンケート調査で検討する事を示しました。

小山征三議員の予算委員会質疑

市民ホールの建設では、これまで10回の建設検討委員会を開催しているにも関わらず候補地など議会へ説明していないことを指摘。市長は「**議会と一緒に検討し、合意形成をしなければならぬ案件である**」ことを示しました。

豊川コミセンの改築では、平成29年度から各種証明のコンビニ交付を予定していることから**地域住民の利便性向上**のため証明取扱所を出張所に昇格すべきと提案しました。市長は、せつかくの機会なので検討したい旨を示しました。

松尾省勝議員の予算委員会質疑

新幹線開業前から、道南との連

携を深める取り組みが進んでいた森町と室蘭を結ぶ、「**森蘭航路**」の実証実験から、ツアー商品の検討を明らかにしました。

新千歳空港からの誘客については、新幹線開業後の一定期間の利用客の動向を注視し、傾向を掴んだ上での誘客戦略を見極めるとの答弁を引き出しました。

また、「**フェイスブック**」による、生活道路や公園の破損をコメント利用し、市民からの情報収集をすべきと提案しました。

岩田 薫議員の予算委員会質疑

国民保険事業が、北海道に移管する事が決まっております、平成30年スタートに向けて、具体的協議が行われる事となりました。

水道事業会計では、昨年からの販売を開始した、**とまチョップ水**を、平成28年度5万本の販売を目指す事が明らかになりました。

下水道事業では、大雨対策3カ年事業の2年目を迎え、雨水管整備を継続するとともに、沼ノ端鉄北地区の人口増加に対応した、**沼ノ端ポンプ場の増設**を3カ年で行う事となりました。